

当館は、平成23年1月20日の開館より約6年が経過し、10万人を超える来館者を迎えることができました。日頃のご支援・ご協力に、改めて感謝を申し上げます。

第11回企画展では、「腎臓」を取り上げます。

「特に大切であること・ところ」をさす言葉として、「肝腎要」という言葉があり、「腎」という漢字が用いられます。このことは、腎臓がヒトにとって重要な臓器であることと関係がありそうです。

また、過去の知見を調べると、腎臓の存在や機能について、いろいろな記述を確認できます。東洋医学では、「五臓六腑」の中に「腎臓」が含まれます。古き時代より、「腎臓」は注目されていたようです。

本企画展では、腎臓の基本的な構造・機能から、その疾患や医療、そして東京大学で行われている腎臓の研究・医療まで紹介します。その中で、ヒトにとって大切な「腎臓」という臓器について、理解を深めていただければ幸いです。

Zone1
腎臓とは？

Zone2
腎臓の病気

Zone3
腎臓の医療

Zone4
東大の取組み

常設展 近代から現代への医学の歩み —— 医学部と附属病院の150年 ——

150余年にわたる医学部・医学部附属病院の業績・歴史の中で、特筆されるものを中心に紹介します。初期の時代にドイツ人教師によってもたらされた医学書、医療器具を展示し、人工癌などの世界的な業績を紹介します。

東京大学医学部総合中央館（医学図書館）B1F

健康と医学の博物館



医学部総合中央館（医学図書館）B1F
健康と医学の博物館
博物館入口は、バス通り沿いです。
医学図書館の入口とは異なります。

- 本郷三丁目駅（地下鉄丸ノ内線）…………… 徒歩 8 分
- 湯島駅又は根津駅（地下鉄千代田線）…… 徒歩 8 分
- 本郷三丁目駅（地下鉄大江戸線）…………… 徒歩 6 分
- 東大前駅（地下鉄南北線）…………… 徒歩 10 分